

商品名 ロイコボリン錠25mg 医薬品基本情報

薬効	3929 その他の解毒剤	一般名	ホリナートカルシウム錠
英名	Leucovorin	剤型	錠
薬価	998.60	規格	25mg 1錠
メーカー	ファイザー	毒劇区分	

ロイコボリン錠25mgの効能・効果

(結腸癌、直腸癌)のテガフル・ウラシルの抗腫瘍効果の増強

ロイコボリン錠25mgの使用制限等

- 重篤な骨髄抑制、下痢、水様便、重篤な感染症、本剤成分又は含有成分で重篤な過敏症の既往歴、テガフル・ウラシル配合剤の成分に対し重篤な過敏症の既往、テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中、テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中止後7日以内
- 骨髄抑制<重篤な骨髄抑制を除く>、感染症<重篤な感染症を除く>、心疾患又はその既往、消化管潰瘍、消化管出血、耐糖能異常、水痘、化学療法、放射線治療、前化学療法を受けていた、腎機能障害、肝機能障害

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止
記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

ロイコボリン錠25mgの副作用等

- 間質性肺炎、咳嗽、息切れ、呼吸困難、発熱
- 骨髄抑制、血液障害、汎血球減少、無顆粒球症、発熱、咽頭痛、倦怠感、白血球減少、血小板減少、貧血、出血傾向、溶血性貧血、劇症肝炎、重篤な肝障害、肝硬変、プロトロンビン時間延長、アルブミン低下、コリンエステラーゼ低下、激しい下痢、脱水症状、重篤な腸炎、出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎、激しい腹痛、精神神経障害、白質脳症、意識障害、小脳失調、痲呆様症状、失見当識、傾眠、記憶力低下、錐体外路症状、言語障害、四肢麻痺、歩行障害、尿失禁、知覚障害、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心室性頻拍、胸痛、失神、息切れ、動悸、心電図異常、急性腎障害、ネフローゼ症候群、嗅覚障害、嗅覚脱失、急性膵炎、腹痛、血清アミラーゼ値上昇、重篤な口内炎、消化管潰瘍、消化管出血、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、ショック、アナフィラキシー、発疹、呼吸困難、血圧低下

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明
記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

3.	赤血球減少、血色素減少、ヘマトクリット値減少、好中球減少、好酸球増多、リンパ球減少、肝機能障害、AST上昇、ALT上昇、総ビリルビン上昇、Al-P上昇、蛋白尿、食欲不振、悪心、嘔吐、下痢、口内炎、便秘、味覚異常、倦怠感、皮膚色素沈着、発疹、そう痒、総蛋白低下、LDH上昇、発熱、血糖値上昇、糖尿、血清ナトリウム低下、血清カルシウム低下	記載場所	その他の副作用
4.	平均赤血球容積増加、MCV増加、黄疸、脂肪肝、血尿、胸やけ、口角炎、口渇、胃炎、嚥下困難、腹鳴、眩暈、しびれ、興奮、皮膚びらん、皮膚角化、紅潮、光線過敏症、皮膚水疱、DLE様皮疹、爪異常、脱毛、皮膚浮腫、過敏症、蕁麻疹、発赤、動悸、胸痛、胸内苦悶感、心電図異常、ST上昇、血痰、高トリグリセリド血症、高コレステロール血症、無月経、関節痛、灼熱感、結膜充血、咳、痰、血清尿酸値上昇、女性型乳房、筋肉痛、CK上昇	記載場所	その他の副作用
		頻度	頻度不明
5.	好塩基球増多、腎機能障害、BUN上昇、クレアチニン上昇、腹痛、心窩部痛、腹部膨満感、胃不快感、胃重感、舌炎、口唇炎、頭痛、頭重感、耳鳴、皮膚炎、皮膚乾燥、手足症候群、頻尿、血清カリウム上昇、血清カリウム低下、血清クロール上昇、血清クロール低下、血清カルシウム上昇	記載場所	その他の副作用
		頻度	5%未満
6.	劇症肝炎、重篤な肝障害、重篤な骨髓抑制、致命的経過	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
7.	劇症肝炎、重篤な骨髓抑制、致命的経過	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明
8.	死亡、重篤な下痢、致命的経過、激しい腹痛、下痢、脱水症状、肝障害、食欲不振、倦怠感、黄疸、眼球黄染、致命的、感染症、感染症悪化、出血傾向、出血傾向悪化、致命的の全身障害、催奇形作用、胎仔骨格変異、胎仔化骨遅延、消化器障害、口内炎、骨髓抑制	記載場所	使用上の注意
		頻度	頻度不明

ロイコボリン錠25mgの相互作用

1. 薬剤名等：テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤

発現事象	重篤な血液障害	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止

2. 薬剤名等：テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中止後7日以内

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	禁止

3. 薬剤名等：テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤

発現事象	早期に重篤な血液障害や下痢・口内炎等の消化管障害	投与条件	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤投与中及び投与中止後少なくとも7日以内
理由・原因	ギメラシルがフルオロウラシルの異化代謝を阻害し、血中フルオロウラシル濃度が著しく上昇	指示	禁止

4. 薬剤名等：化学療法

発現事象	下痢・骨髄抑制等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	下痢・骨髄抑制等の副作用が増強	指示	注意

5. 薬剤名等：放射線治療

発現事象	下痢・骨髄抑制等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	下痢・骨髄抑制等の副作用が増強	指示	注意

6. 薬剤名等：前化学療法を受けていた

発現事象	下痢・骨髄抑制等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	下痢・骨髄抑制等の副作用が増強	指示	注意

7. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	中毒＜嘔気・嘔吐・眼振・運動障害等＞	投与条件	-
理由・原因	テガフルによってフェニトインの代謝が抑制され、フェニトインの血中濃度が上昇	指示	注意

8. 薬剤名等：ワルファリンカリウム

発現事象	テガフルがワルファリンカリウムの作用を増強	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

9. 薬剤名等：抗悪性腫瘍剤

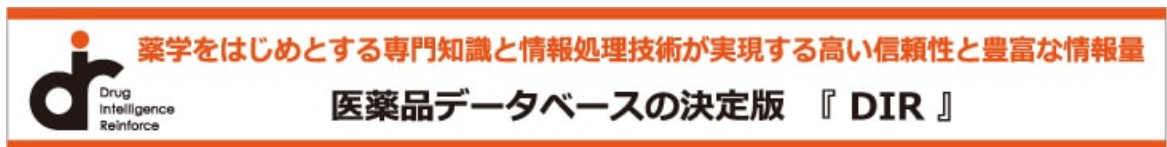
発現事象	消化管障害・血液障害等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	副作用が相互に増強	指示	注意

10. 薬剤名等：放射線照射

発現事象	消化管障害・血液障害等の副作用が増強	投与条件	-
理由・原因	副作用が相互に増強	指示	注意

11. 薬剤名等：葉酸代謝拮抗剤

発現事象	作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	ホリナートによって葉酸代謝拮抗作用が減弱	指示	注意



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.